

活性化する産学連携

県全体でプロジェクトを

神奈川県産学公座談会

神奈川県は自動車、重工業、バイオなどさまざまな研究開発支援に力を入れ、またインベスト神奈川セカンドステップなどの施策を通して企業誘致に成功している。大手企業から中小・ベンチャー企業までが集まる幅広い産業構造の中で産学公連携も盛んに行われており、成果を上げている。東日本大震災による産業へのダメージが残る中、県内の行政機関、企業、大学が産学公連携でどのような取り組みをするのか各界関係者が意見を交換した。

パワーエレクトロニクス分野に力

医工の成功例を蓄積

医療・航空宇宙に期待

産学公連携をテーマにした話の電気機器の効率を上げるにすにあたって、まず皆さんが最近の事例や力を入れて取り組んでいることを教えてください。

大塚 神奈川県産学技術センターはパワーエレクトロニクス分野に力を入れていますが、環境問題や東京電力福島第一原子力発電所事故の影響もあり、これからは電気自動車(EV)や発電システムなど、大電力を扱う強電の需要が高まると思います。大電力



山本氏(左)と大塚氏(右)の座談会。

出席者
神奈川県産学技術センター所長 大塚 康男氏
川崎市産業振興財団 産業支援部長 桜井 亨氏
新産業振興部長兼経営支援課長 山本 圭治郎氏
神奈川工科大学 工学研究推進機構長 田口 澄也氏
神奈川大学研究支援部次長兼 産官学連携推進課長 榎 孝氏
フェイトン社長 岡田 幸勝氏
光学技研社長 岡田 幸勝氏
〈司会〉……日刊工業新聞社横浜総局長 星川 博樹

味があります。当社は波長板、偏光子など最先端の加工技術がベースにあります。専門性が高い顧客からの評価は上がりますが、やればやるほど仕事の幅が狭くなるので、会社の事業範囲を広げたいですね。特に航空宇宙分野の元気ある若い人を起用

す。間接的には光源の波長変化や光を使った分析ツールなど、かわつていますが、当社のような中小企業、社だけでは入り込めない分野。民間同士や公共機関などの連携がないと難しいと思います。

山本 神奈川県産学技術センターは、環境問題解決の産学公連携の2分野で新たに補助金を受けるようになり、研究費を得ながら研究できる体制ができあがっています。太陽エネルギーの研究センターなどに力を入れていきます。

岡田氏

設立した大学ベンチャー「未来環境テクノロジ」の乳化成品も商品化に結びつく成果が出ています。また、来年4月から理工学部を再構築します。平塚キャンパスで数理・物理学科を創設し、基礎に重点を置きます。工学部でも総合工学プログラムできめ細かい人材育成をしていき、産学公の人材不足にも対応します。

岡田氏

1年たっても進まない。先生方にはもってこいだと思います。人育てて技術確立という意識で、実際に結びついた事例もありません。

田口氏

大塚 目標を同じくするということで意識しましょう。企業の努力・熱意・粘りがカギです。大学の先生の意識をうまく使っても大切なことは、実際に製造する場合は特許に書かれていることをそのままやってもいいものではない。企業向けにすりあわせる必要がありそうです。

榎氏

大塚 最終的には社長の決断です。技術的に成功が難しい場合もありますが、挫折すること成功につながります。

榎氏

大塚 海外との連携もあり得るケースは二つあります。一つは、技術をポイントで見て、国内にならぬのだった場合。もう一つは相手国が中国・台湾などの大学だった場合。彼らは始めから商売を見込んで取り組んでいる場合が多いので、我々企業側も期待してしまいがち。日本としても技術的に守りたい部分があるので、公の立場では紹介しづらいケースがあります。例えば、「電気自動車(EV)プロジェクト」で日本企業と組みたい」と言われても、技術だけを海外

ネット普及で機会拡大 人を育てて技術確立 県内産業の垂直統合を

インターネットの普及で、産学公連携の機会が増えました。

田口 増えています。科学技術振興機構(STI)などで論文や特許のデータベースを整備されてきた名目ですが、それを参照しながら目指して来られることが多くなりました。接点のなかった会社から気軽に問い合わせが来るようになりました。

田口氏

大塚 さらには、成功確率を上げるのが我々の仕事。技術的にふさわしいパートナーが見つかったとしても「本当にこの人と関係を構築できるか」というのも大切なポイントです。

田口氏

大塚 当センターで行っている人材育成研修は週に3、4日のペースで、半年以上の期間をかけて集まり、実習をしています。それができるとい

田口氏

大塚 海外との連携もあり得るケースは二つあります。一つは、技術をポイントで見て、国内にならぬのだった場合。もう一つは相手国が中国・台湾などの大学だった場合。彼らは始めから商売を見込んで取り組んでいる場合が多いので、我々企業側も期待してしまいがち。日本としても技術的に守りたい部分があるので、公の立場では紹介しづらいケースがあります。例えば、「電気自動車(EV)プロジェクト」で日本企業と組みたい」と言われても、技術だけを海外

田口氏

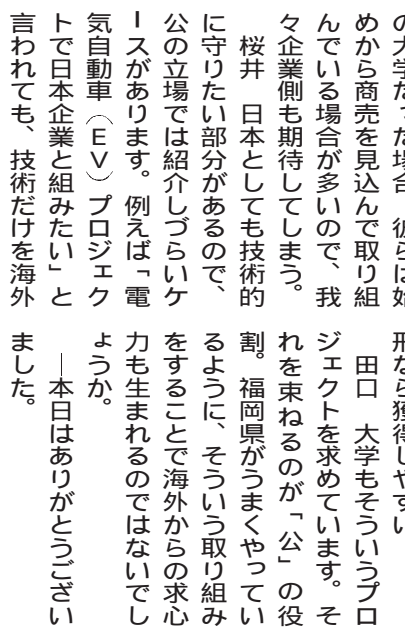
大塚 海外との連携もあり得るケースは二つあります。一つは、技術をポイントで見て、国内にならぬのだった場合。もう一つは相手国が中国・台湾などの大学だった場合。彼らは始めから商売を見込んで取り組んでいる場合が多いので、我々企業側も期待してしまいがち。日本としても技術的に守りたい部分があるので、公の立場では紹介しづらいケースがあります。例えば、「電気自動車(EV)プロジェクト」で日本企業と組みたい」と言われても、技術だけを海外



山本氏



榎氏



岡田氏



大塚氏



桜井氏

最新レーザプロセス for パワーデバイス

IGBT、パワー半導体素子用レーザアニール LA-36YL ●SiC素子の表面活性化	SiC表面電極金属膜オーミック化専用装置 LA-08CO ●SiC表面電極金属膜オーミック化	レーザ薄膜エッチングシステム MF-08SH ●FPD・太陽電池パネルの薄膜バタニング ●樹脂フィルムのカットニング	レーザ融着装置 MW-50CS ●はんだレス接合
---	---	--	---------------------------------------

フェイトン株式会社 〒243-0021 神奈川県横浜市岡田3050 厚木アクトメインタワー 3F
TEL: 046-220-2931 FAX: 046-220-2903 Mail: info@phoeton.com <http://www.phoeton.com>

先進のオプトロニクステクノロジーで あらゆる可能性を形にします

先端的研究開発をサポートする高精度加工技術として
研磨加工、方位出し加工、切断加工、接合加工、成膜加工
高機能光学部品として
波長板、非線形結晶、エタロン、
偏光子、光アイソレータ

光学技研 ●お問い合わせ
〒243-0033 神奈川県厚木市温水 135 番地
TEL: 046-224-2555 FAX: 046-224-8007
E-mail: sales@kogakugiken.co.jp
<http://www.kogakugiken.co.jp>

産学連携を積極的展開

地域との連携を通じて、「地域から頼られる大学」へ。
地域行政の中小企業活性化事業への参画、フォーラムの共同開催の実現、
また地元企業との新しい共同研究を開始するなど、リエゾンオフィスは活動しています。

科学的な成果を地域に還元する。KAIT 検索 <http://www.kait.jp/>

神奈川工科大学 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
産学連携 リエゾンオフィス TEL: 046-291-3277 E-mail: liaison@kait.jp

工学部
機械工学科(前工学部工学専攻)
電気電子情報工学科
応用化学科

創造工学部
自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

応用バイオ科学部
応用バイオ科学学科
栄養生命科学科
(栄養学専攻)

情報学部
情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

大学の研究室の部品加工から、実験、研究機器、装置の試作開発を

川崎市のものづくり企業が応援します!
試作開発促進プロジェクト

財団法人 川崎市産業振興財団 新産業振興課
TEL.044-548-4113 liaison@kawasaki-net.ne.jp

＜参加企業＞
(株)イクスリサーチ、(有)伊藤工業、
(株)伊吹電子、角丸金属(株)、
(株)協同インターナショナル、(株)クレール、
(株)光電機、今野工業(株)、佐々木工機(株)、
(株)JKB、(株)スタックス、(有)関戸ハガネ商店、
セントラル電子制御(株)、TMCシステム(株)、
(株)南陽、(株)日本システム研究所、
(有)能島鉄工所、(株)日の出製作所、
福島電機(株)、(株)八潮製作所、
山崎金型(株)、(株)リード技研